

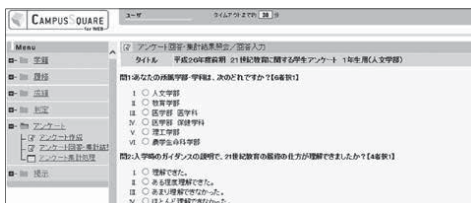
その他

## 平成26年度前期 21世紀教育に関する学生アンケート

21世紀教育に関する学生アンケートを、例年通り実施しました。このアンケート結果のデータを分析し、履修ガイダンスの方法や基礎ゼミナールなどの実施内容を検討する際の指針になればと考えております。  
FD・広報専門委員 田中正弘

**【実施要項】**

- ・実施期間：平成26年4月9日(水)～4月22日(火)
- ・実施対象：全学部の1・2年生
- ・回答方法：学務情報システム (Campus Square) による回答 (学内のPCを使用)



**【回答者数】**

**1年生**

学部名	学生数	回答者数	回答率
人文学部	352	284	80.7%
教育学部	248	189	76.2%
医学部医学科	113	77	68.1%
医学部保健学科	200	161	80.5%
理工学部	304	237	78.0%
農学生命科学部	188	153	81.4%
合計	1405	1101	78.4%

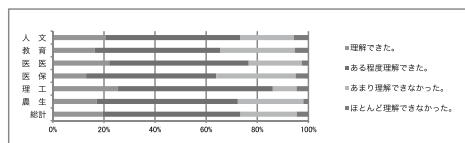
**2年生**

学部名	学生数	回答者数	回答率
人文学部	351	269	76.6%
教育学部	243	142	58.4%
医学部医学科	112	44	39.3%
医学部保健学科	198	122	61.6%
理工学部	306	215	70.3%
農学生命科学部	189	125	66.1%
合計	1399	917	65.5%

◎ 1年生

設問2：入学時のガイダンスの説明で、21世紀教育の履修のしかたが理解できましたか？  
(回答数1,100)

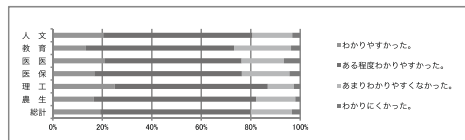
- ・理解できた (19.5%)
- ・ある程度理解できた (54.0%)
- ・あまり理解できなかった (22.0%)
- ・ほとんど理解できなかった (4.5%)



「理解できた」と「ある程度理解できた」の回答を合わせると7割 (73.5%) を超えており、昨年度と同様の結果になりました。ただし、昨年度と比べると、理工学部や医学科の理解度が高まった一方で、人文学部や保健学科の理解度が下がっています。

設問3：「履修マニュアル」の解説はわかりやすかったですか？ (回答数1,091)

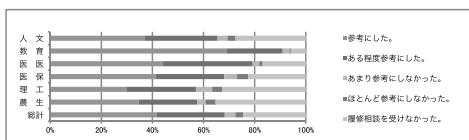
- ・分かりやすかった (19.2%)
- ・ある程度分かりやすかった (60.9%)
- ・あまり分かりやすくなかった (16.6%)
- ・分かりにくかった (3.4%)



昨年度と同様に、「分かりやすかった」と「ある程度分かりやすかった」の回答は、合わせて80%となりました。ただし、教育学部の理解度が昨年度と比べて下がっています。ガイダンスの見直しが必要かもしれません。

**設問4：履修相談で受けた指導を履修にあたって参考にしましたか？（回答数1,097）**

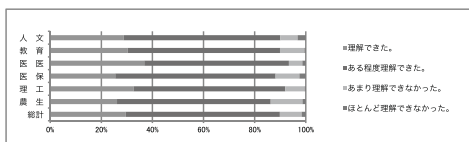
- 参考にした（41.8%）
- ある程度参考にした（26.5%）
- あまり参考にしなかった（4.2%）
- ほとんど参考にしなかった（3.0%）
- 履修相談を受けなかった（24.5%）



回答者の75.5%が履修相談を受けました。ただし、人文学部、理工学部、農学生命科学部では、その割合が低くなっています。履修相談を受けやすい環境の整備や広報に、改善の余地があるのかもしれません。

**設問5：入学時のガイダンスや履修相談等を通じて、21世紀教育の目標が理解できましたか？（回答数1,096）**

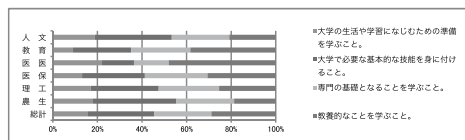
- 理解できた（29.6%）
- ある程度理解できた（60.3%）
- あまり理解できなかった（8.5%）
- ほとんど理解できなかった（1.6%）



「あまり理解できなかった」と「ほとんど理解できなかった」の回答の割合が年々低下してきましたが、今年も減少（1.7ポイント減）しました。学生の間で、21世紀教育の目標への理解がより深まっていると思われます。

**設問6：21世紀教育に対して一番強く期待することは何ですか？（回答数1,097）**

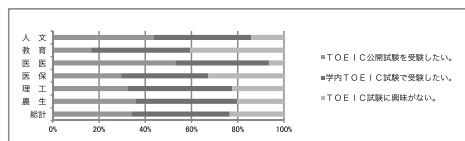
- 大学の生活や学習になじむための準備を学ぶこと（15.8%）
- 大学に必要な基本的な技能を身に付けること（29.8%）
- 専門の基礎となることを学ぶこと（25.5%）
- 教養的なことを学ぶこと（28.9%）



選択肢はそれぞれ「導入科目」「技能系科目」「基礎教育科目」「テーマ科目」の目標に対応しています。昨年度と比べると、全体的に、「専門の基礎となることを学ぶこと」と「教養的なことを学ぶこと」の割合が高まりました。部局別では、昨年度と同様に、医学科で「教養的なことを学ぶこと」の割合が高いことが、特徴となっています。

**設問7：TOEIC試験に興味がありますか？（回答数1,097）**

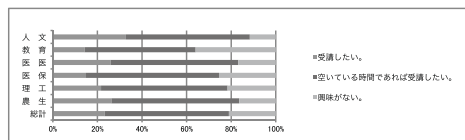
- TOEIC公開試験を受験したい（34.2%）
- 学内TOEIC試験を受験したい（42.4%）
- TOEIC試験に興味がない（23.4%）



TOEICを受験したいと回答した割合は、76.6%になっています。部局別では、医学科が最も高い割合で受験を希望しており、次いで人文学部の割合も高くなっています。一方で、教育学部や保健学科では、「TOEIC試験に興味がない」という回答がやや多く見られました。

**設問8：TOEIC向けの授業を受講したいですか？（回答数1,099）**

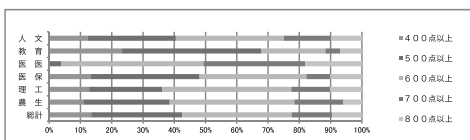
- 受講したい（23.2%）
- 空いている時間であれば受講したい（55.8%）
- 興味がない（21.0%）



受講したいという回答が合わせて79%となっていますが、「空いている時間であれば受講したい」という、やや消極的な回答が多数を占めました。とはいえ、人文学部などでは受講希望が強く示されているので、開講が期待されているといえます。

**設問9：TOEICを受験する場合は、何点ぐらいに目標を設定したいですか？（回答数1,096）**

- 400点以上 (13.4%)
- 500点以上 (29.1%)
- 600点以上 (35.0%)
- 700点以上 (13.0%)
- 800点以上 (9.5%)



「600点以上」「700点以上」「800点以上」という回答を合わせると、全体の5割（57.5%）を超えています。特に医学科では、「700点以上」あるいは「800点以上」を希望する回答が多く見られました。

**設問10：履修を希望したが、時間割の関係で受講できなかった科目があれば記入して下さい。（記述式）**

受講できなかった科目上位

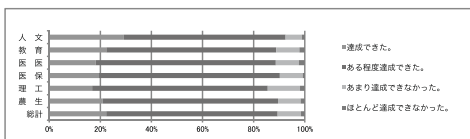
- 心理学の基礎 68名
- 哲学の基礎 27名
- 地理学の基礎 21名
- 地学の基礎 18名
- 社会学の基礎 13名

これらの科目のさらなる開設が期待されています。

**◎ 2年生**

**設問2：21世紀教育の「基礎教育科目」の達成目標は「学問のすそ野を広げ、学ぶための教養を培う」ことでした。あなたの学習の結果からみて達成感はどうでしたか？（回答数915）**

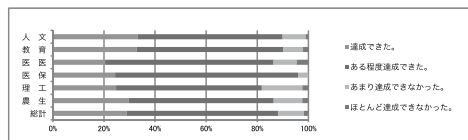
- 達成できた (22.3%)
- ある程度達成できた (67.1%)
- あまり達成できなかった (9.1%)
- ほとんど達成できなかった (1.5%)



「達成できた」と「ある程度達成できた」の回答を合わせると全体で89.4%となり、昨年度より2ポイント程度上昇しました。基礎教育科目の教育改善が蓄積されてきた成果だと思われます。なお、部局間の差も小さく、どの部局でも達成できた割合が高くなっています。

**設問3：21世紀教育の「テーマ科目」の達成目標は「幅広く深い教養と総合的な判断力を養う」ことでした。あなたの学習の結果からみて達成感はどうでしたか？（回答数917）**

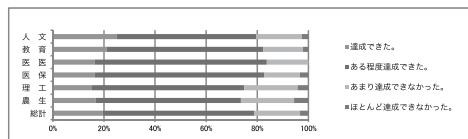
- 達成できた (28.9%)
- ある程度達成できた (59.3%)
- あまり達成できなかった (10.0%)
- ほとんど達成できなかった (1.7%)



「達成できた」と「ある程度達成できた」の回答を合わせると88.2%となりました。昨年度より3ポイント程度増えています。部局別では、保健学科が最も高い95.9%となっています。この結果は、テーマ科目の教育内容と達成目標の一致がより進んだためだと思われます。

**設問4：21世紀教育の「技能系科目」の達成目標は「国際化や自己管理、自己表現に対する能力の育成」でした。あなたの学習の結果から見て達成感はどうでしたか？（4者択一 回答者数916名）**

- 達成できた (19.4%)
- ある程度達成できた (59.3%)
- あまり達成できなかった (18.0%)
- ほとんど達成できなかった (3.3%)



技能系科目の達成感は、昨年度と同様に、基礎教育科目やテーマ科目と比べて、低い値になっています。ただし、「達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると、78.7%となり、昨年度より4ポイント

程度増加しています。改善は着実に進んでいるといえます。

**設問5：履修を希望したが、時間割の関係で受講できなかった科目があれば記入して下さい。(記述式)**

受講できなかった科目上位

- 最新医学の現状 25名
- 食育概論 13名
- 心理学の基礎 10名
- 地学の基礎 9名
- 哲学の基礎 7名
- 東日本大震災復興論 7名

これらの科目のさらなる開設が期待されています。

**設問6：21世紀教育科目の成績評価について感じたことがあれば、自由に記入して下さい。(記述式)(回答数63)**

「出席を重視してほしい」、「難易度のバラツキを是正してほしい」、「テストの点を開示してほしい」、「評価方法が不明瞭だった」などの意見が多く見られました。科目別では、英語の評価方法の統一を願う声が目立ちます。

**設問7：21世紀教育の全体を通して、特に感じたこと、考えたこと、提案したいことがあれば自由に記入して下さい。(記述式)(回答数58)**

肯定的な意見として、「幅広く学ぶことができ、やりがいを感じた」、「視野が広がった」などが記述されていました。専門教育で提供されない内容を学べる教養教育の価値が認められたのだといえるでしょう。

改善点を指摘する意見として、「同じ時間帯に授業が集中しているのを改めてほしい」、「専門科目と時間が重なっている科目があった」などが多く見られました。時間割の調整が必要かもしれません。それから、あまりに簡単に単位が取れる科目の存在に疑問符を付けた意見も複数ありました。

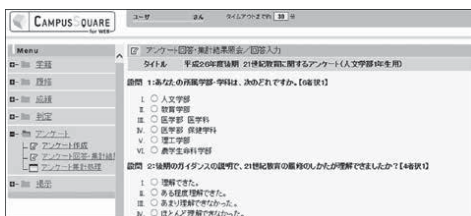
## 平成26年度後期 21世紀教育に関する学生アンケート（1年生のみ）

21世紀教育に関する学生アンケートを、例年通り実施しました。このアンケート結果のデータを分析し、履修ガイダンスの方法や基礎ゼミナールなどの実施内容を検討する際の指針になればと考えております。

FD・広報専門委員 田中正弘

### 【実施要項】

- 実施期間：平成26年10月1日(水)～10月15日(水)
- 実施対象：全学部の1年生
- 回答方法：学務情報システム（Campus Square）による回答（学内のPCを使用）



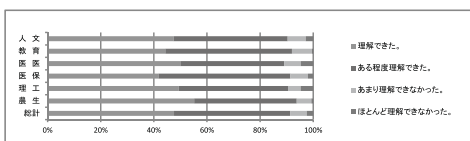
### 【回答者数】

1年生（各学部の在学生）

学部名	全人数	回答者数	回答率
人文学部	352	249	70.7%
教育学部	248	213	85.9%
医学部医学科	115	64	55.7%
医学部保健学科	200	151	75.5%
理工学部	304	212	69.7%
農学生命科学部	188	148	78.7%
合計	1407	1037	73.7%

**設問2：後期のガイダンスの説明で、21世紀教育の履修のしかたが理解できましたか？**  
(回答数1032)

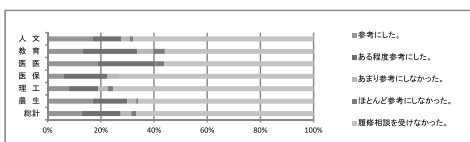
- 理解できた (47.6%)
- ある程度理解できた (43.7%)
- あまり理解できなかった (6.3%)
- ほとんど理解できなかった (2.4%)



「理解できた」と「ある程度理解できた」の回答を合わせると91.3%となり、昨年度より若干増えました。ガイダンスが学内に定着してきた成果だと思われます。

**設問3：履修相談で受けた指導を履修にあたって参考にしましたか？**  
(回答数1033)

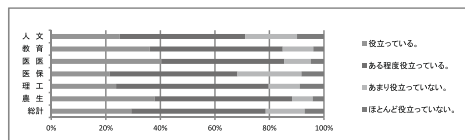
- 参考にした (12.9%)
- ある程度参考にした (14.6%)
- あまり参考にしなかった (4.0%)
- ほとんど参考にしなかった (1.8%)
- 履修相談を受けなかった (66.7%)



後期の履修相談を受けた学生の割合は33.3%で、前期(75.5%)の約半分となっていますが、昨年と比べると、約6ポイント上昇しました。履修相談を受けた学生の82.6%が「参考にした」または「ある程度参考にした」と回答しており、後期の履修相談の有効性は示されていると思われます。

**設問4：「基礎ゼミナール」は、大学の学習や生活になじむために役立ちましたか？**  
(回答数1002)

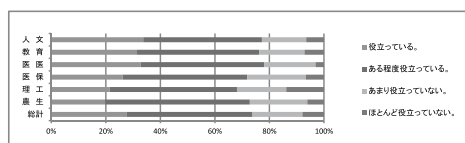
- 役立っている (29.3%)
- ある程度役立っている (49.3%)
- あまり役立っていない (14.3%)
- ほとんど役立っていない (7.1%)



「役立っている」と「ある程度役立っている」の割合は、昨年度を僅か(約1ポイント)ながら下回りました。保健学科で急激に割合が低下した(18ポイント近く)ことが主な原因です。急落した理由を調べる必要があると思われます。

**設問5：「基礎ゼミナール」は、レポートなどの文書作成に役立っていますか？**  
(回答数1026)

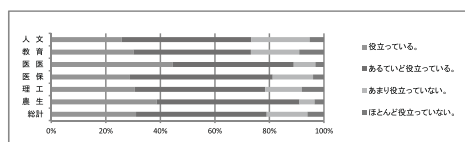
- 役立っている (27.6%)
- ある程度役立っている (46.2%)
- あまり役立っていない (18.3%)
- ほとんど役立っていない (7.9%)



「役立っている」と「ある程度役立っている」の回答の割合(73.8%)は、概ね昨年度と同じ値となりました。ただし、この割合が昨年度に9割近かった保健学科で、数字が著しく悪化しました。

**設問6：「基礎ゼミナール」は、口頭発表などに役立っていますか？**  
(回答数1023)

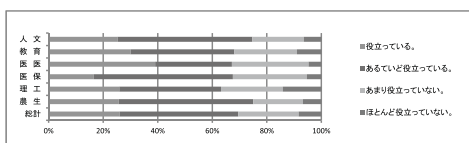
- 役立っている (31.1%)
- ある程度役立っている (47.9%)
- あまり役立っていない (15.0%)
- ほとんど役立っていない (6.1%)



基礎ゼミナールの学習成果を聞く設問5～8の中で、「役立っている」と「ある程度役立っている」を合わせた割合が最も高い(ただし、その差は小さい)のが、この設問6となりました。特に医学科と農学生命科学部で、その割合が高くなっています。

**設問7：「基礎ゼミナール」は、資料を探す際に役立っていますか？（回答数1037）**

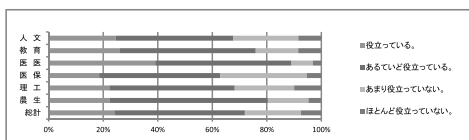
- 役立っている (26.0%)
- ある程度役立っている (43.5%)
- あまり役立っていない (22.2%)
- ほとんど役立っていない (8.3%)



「役立っている」と「ある程度役立っている」の回答を合わせた割合は69.5%で、昨年度より2ポイント程度低下しています。その割合が昨年度最も高かった保健学科の値が大きく低下したことから、理工学部の値が改善されなかったことが影響していると思われる。

**設問8：「基礎ゼミナール」は、物事を批判的に検討し、新しい課題を探すことに役立っていますか？（回答数1034）**

- 役立っている (24.1%)
- ある程度役立っている (47.9%)
- あまり役立っていない (20.6%)
- ほとんど役立っていない (7.4%)



「役立っている」と「ある程度役立っている」を合わせた割合は、医学科で89.1%ととなり、昨年度と比べて、大きく数字が伸びました。対照的に、人文学部と保健学科では、その数字が減っています。

**設問9：履修を希望したが、時間割の関係で受講できなかった科目があれば記入して下さい。（記述式）**

受講できなかった科目上位

- 食育概論 59名
- 最新医学の現状 58名
- 芸術の世界 20名
- 社会と私 16名
- 人を育む営み 15名

- 思想・文学の世界 13名
- 地学の基礎 13名
- 企業と経営 12名

これらの科目のさらなる開設が期待されています。

**設問10：21世紀教育科目の成績評価について感じたことがあれば、自由に記入して下さい。（記述式）（回答数104）**

「評価方法の仕方が分からない」ことへの不満が散見されました。また、このことに関連して、「期末テストの返却を希望する」など、自分の点数を知りたいという意見も多々見られました。「教員によって難易度や評価方法がバラバラだ」という意見も多く述べられています。よって、これらの改善が必要だといえるでしょう。

**設問7：21世紀教育の全体を通して、特に感じたこと、考えたこと、提案したいことがあれば自由に記入して下さい。（記述式）（回答数110）**

「専門以外の内容を学べて視野が広がった」、「楽しい授業がたくさんあった」など、21世紀教育を楽しんで履修している姿が回答欄から垣間見られました。その一方で、「テーマ科目が火曜日と木曜日に集中しすぎている」、「テーマ科目の履修制限を改善してほしい」、「教科書を買う科目で履修制限はやめてほしい」など、時間割編成上の問題や、履修したい科目の履修制限などの改善を願う意見が数多く見られました。これらの課題解決に向けて、努力していきたいと思えます。